

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																						
	<p>現 行</p> <p>4. 施工単価入力基準表 (1) 削孔 (アンカー)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB223910</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施工区分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>足場上の有無</td> <td>方式</td> <td>呼び径</td> <td>土質</td> </tr> <tr> <td>① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)</td> <td>①単管方式 ②二重管方式</td> <td>① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 4.1)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①を選択した場合は、J 3条件の①及びJ 4条件の①②の選択が出来ない。 2. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 3. 土質毎に本コードを積み上げるものとする。 4. J 1条件で①を選択した場合は、ボーリングマシン 移設(アンカー)(CB223950)、足場(アンカー)(CB223970)を別途計上する。</p> <p>表4.1 土質</p> <table border="1"> <tr> <td>土 質</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>粘性土・砂質土</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>レキ質土</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>軟 岩</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>(注) ⑤の硬岩については、コンクリートを含む。</p> <p>(2) アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理 (アンカー)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB223920</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施工区分</td> <td colspan="5">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>防食方式</td> <td>アンカー鋼材</td> <td>削孔長</td> <td>設計荷重 (f)</td> <td>頭部処理の有無</td> </tr> <tr> <td>①二重防食 ②簡易防食</td> <td>①PC鋼線より線 ②PC鋼線より線 (工場組立) ③複合PC鋼線より線 ④PC鋼線</td> <td>①10m以内 ②10mを超える</td> <td>① f < 100kN ② 400 ≤ f < 1,300kN ③ 1,300 ≤ f < 2,000kN</td> <td>①有り ②無し</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件の③の選択が出来ない。 2. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件は選択が出来ない。 3. J 2条件で③を選択した場合は、J 4条件の③の選択が出来ない。 4. オイルキャップによる頭部処理を行わない場合は、J 5条件で②を選択すること。</p> <p>(3) グラウト注入 (アンカー)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB223940</td> <td>施工単位</td> <td>m³</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 注入材(グラウト材料)(Y-6232000) [円/m³]を単価登録すること。 2. 入力する数量については、材料の補正を含んだ数量を入力すること。</p>	パッケージコード	CB223910	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	足場上の有無	方式	呼び径	土質	① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)	①単管方式 ②二重管方式	① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 4.1)		土 質	入力番号	粘性土・砂質土	①	レキ質土	②	玉石混じり土	③	軟 岩	④	硬 岩	⑤	パッケージコード	CB223920	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件					J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無	①二重防食 ②簡易防食	①PC鋼線より線 ②PC鋼線より線 (工場組立) ③複合PC鋼線より線 ④PC鋼線	①10m以内 ②10mを超える	① f < 100kN ② 400 ≤ f < 1,300kN ③ 1,300 ≤ f < 2,000kN	①有り ②無し	パッケージコード	CB223940	施工単位	m ³	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>4. 施工単価入力基準表 (1) 削孔 (アンカー)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB223910</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施工区分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>足場上の有無</td> <td>方式</td> <td>呼び径</td> <td>土質</td> </tr> <tr> <td>① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)</td> <td>①単管方式 ②二重管方式</td> <td>① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 1.1)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①を選択した場合は、J 3条件の①及びJ 4条件の①②の選択が出来ない。 2. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 3. 土質毎に本コードを積み上げるものとする。 4. J 1条件で①を選択した場合は、ボーリングマシン 移設(アンカー)(CB223950)、足場(アンカー)(CB223970)を別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>	パッケージコード	CB223910	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	足場上の有無	方式	呼び径	土質	① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)	①単管方式 ②二重管方式	① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 1.1)		<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
パッケージコード	CB223910	施工単位	m																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																					
各 種	足場上の有無	方式	呼び径	土質																																																																																					
	① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)	①単管方式 ②二重管方式	① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 4.1)																																																																																						
土 質	入力番号																																																																																								
粘性土・砂質土	①																																																																																								
レキ質土	②																																																																																								
玉石混じり土	③																																																																																								
軟 岩	④																																																																																								
硬 岩	⑤																																																																																								
パッケージコード	CB223920	施工単位	本																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																				
各 種	防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無																																																																																				
	①二重防食 ②簡易防食	①PC鋼線より線 ②PC鋼線より線 (工場組立) ③複合PC鋼線より線 ④PC鋼線	①10m以内 ②10mを超える	① f < 100kN ② 400 ≤ f < 1,300kN ③ 1,300 ≤ f < 2,000kN	①有り ②無し																																																																																				
パッケージコード	CB223940	施工単位	m ³																																																																																						
パッケージコード	CB223910	施工単位	m																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																					
各 種	足場上の有無	方式	呼び径	土質																																																																																					
	① 有り(ｽﾀｯﾄﾞ型) ② 無し(ｶｰﾗ型)	①単管方式 ②二重管方式	① 90 mm ②115 mm ③135 mm ④146 mm (表 1.1)																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 8/8																																																																																						

改正理由	一部改正	改正		備考																																																																																															
		現	行																																																																																																
	<p>3-2 コンクリート削孔(さく岩機)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.3 コンクリート削孔(さく岩機) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100mm 以上 200mm 未満</td></tr> <tr><td>200mm 以上 300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上 400mm 未満</td></tr> <tr><td>400mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td>600mm 以上 800mm 未満</td></tr> <tr><td>800mm 以上 1,000mm 未満</td></tr> <tr><td>1,000mm 以上 1,100mm 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、さく岩機によるコンクリート構造物の削孔(用心鉄筋(さし筋)、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等)作業の他、ロッド、ピットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.4 コンクリート削孔(さく岩機) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第1次基準値)] 3.5~3.7m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	100mm 以上 200mm 未満	200mm 以上 300mm 未満	300mm 以上 400mm 未満	400mm 以上 600mm 未満	600mm 以上 800mm 未満	800mm 以上 1,000mm 未満	1,000mm 以上 1,100mm 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	K 2	さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.4 コンクリート削孔(さく岩機) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第4.3次基準値)] 3.5~3.7m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第4.3次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	K 2	さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)</p>
削孔深さ																																																																																																			
100mm 以上 200mm 未満																																																																																																			
200mm 以上 300mm 未満																																																																																																			
300mm 以上 400mm 未満																																																																																																			
400mm 以上 600mm 未満																																																																																																			
600mm 以上 800mm 未満																																																																																																			
800mm 以上 1,000mm 未満																																																																																																			
1,000mm 以上 1,100mm 以下																																																																																																			
項目	代表機材規格		備考																																																																																																
機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料																																																																																																
	K 2	さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																	
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																	
	R 2	普通作業員																																																																																																	
	R 3	土木一般世話役																																																																																																	
	R 4	—																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																																
機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーン型(低騒音型)・排出ガス対策型(第4.3次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料																																																																																																
	K 2	さく岩機 [ハンドドリル(空圧式) 質量15kg級]																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																	
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																	
	R 2	普通作業員																																																																																																	
	R 3	土木一般世話役																																																																																																	
	R 4	—																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																	
積算上の注意事項				(控え頁) 1/1																																																																																															

工 種	目地・止水板設置工
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>⑩ 目地・止水板設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、目地板、止水板、シール材を設置する作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 目地板 (1) 目地板（厚さ 10～20mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁、天端コンクリート、地覆・壁高欄等に設置する場合 1-1-2 止水板 (1) 止水板（幅 100～300mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等に設置する場合 1-1-3 シール材 (1) シーリング材を新設の橋梁地覆、壁高欄、砂防（収縮継手部）、ボックスカルバート、水路等に設置する場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 目地板 (1) 現場打擁壁工（1）、共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）の場合 1-2-2 止水板 (1) 共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）、砂防ダムの場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 止水板設置及びシール材設置は、必要に応じて計上すること。</p> <p>II-2-⑩-1</p>	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 止水板設置及びシール材設置は、必要に応じて計上すること。</p>	<p>記載の変更</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

5. 施工単価入力基準表

(1) 目地板

パッケージコード	CB224710	施工単位	m ²
施工区分	入力条件		
各 種	J 1		J 2
	1 工事当り使用量		目地板の種類
	①30m ² 未満 ②30m ² 以上		(表 5.1)

(注) 1. 本コードは、目地板の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。
2. J 2 条件で㉓を選択した場合は、目地板単価 (Y-1140000) [円/m²] を単価登録すること。

表5.1 目地板の種類

種 類	規 格	入力番号
瀝青質目地板	t=10	①
瀝青繊維質目地板		②
樹脂発泡体 (15 倍発泡)		③
樹脂発泡体 (30 倍発泡)		④
ゴム発泡体		⑤
発泡スチロール		⑥
瀝青質目地板	t = 20	⑦
瀝青繊維質目地板		⑧
樹脂発泡体 (15 倍発泡)		⑨
樹脂発泡体 (30 倍発泡)		⑩
ゴム発泡体		⑪
発泡スチロール		⑫
各種		⑬

(2) 止水板

パッケージコード	CB224810	施工単位	m
施工区分	入力条件		
各 種	J 1		
	止水板の種類		
	(表 5.2)		

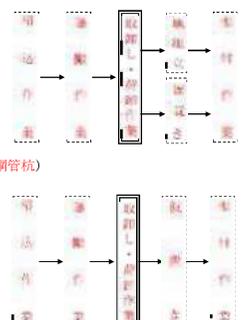
(注) 1. 本コードは、止水板の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。
2. J 1 条件で㉑、㉒を選択した場合は、止水板単価 (Y-1672000) [円/m] を単価登録すること。

現行どおり

2. J 1 条件で㉑、㉒を選択した場合は、**塩ビ**止水板単価 (Y-1672000) [円/m]、**㊸**を選択した場合は、**ゴ**
ム止水板単価 (Y-1673000) [円/m] を単価登録すること。

記載の変更

積算上の注意事項	II-2-⑬-6	(控え頁) 2/2
----------	----------	--------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考										
現 行	改 正	備 考											
<p>② 現場取卸費</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼桁等（鋼桁、門扉）、PC桁及び鋼管杭の現場取卸に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 現場取卸（鋼桁） （1）クレーン規格が200t 吊以下の場合 1-1-2 現場取卸（PC桁） （1）クレーン規格が200t 吊以下の場合 1-1-3 現場取卸（鋼管杭） （1）クレーン規格が20t 吊の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 現場取卸（PC桁） （1）直接架設する場合は原則として現場取卸費は計上しない。 ただし、PC桁を仮置きする必要がある場合は必要に応じて現場取卸（PC桁）を計上する。</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 現場取卸（鋼桁） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 現場取卸(鋼桁) 積算条件区分一覧 (積算単位:t)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 16t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 20t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 25t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 35t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 50t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、鋼桁の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 規格は最大部材質量等により決定する。 3. 直接工事費に計上する。</p>	クレーン規格	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 16t 吊	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 20t 吊	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 25t 吊	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 35t 吊	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 50t 吊	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	<p>② 現場取卸費工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼桁等（鋼桁、門扉）、PC桁及び現場荷卸作業で、トレーラから直接架設せずに、地組立や仮置きをするために現場取卸する場合及び鋼管杭の現場取卸作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 現場取卸（鋼桁） （1）クレーン規格が200t 吊以下の場合 1-1-2 現場取卸（PC桁） （1）クレーン規格が200t 吊以下の場合 1-1-32 現場取卸（鋼管杭） （1）クレーン規格が2045t 吊以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 現場取卸（PC桁） （1）直接架設する場合は原則として現場取卸費は計上しない。 ただし、PC桁を仮置きする必要がある場合は必要に応じて現場取卸（PC桁）を計上する。 PC桁を現場取卸する場合。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 （1）現場取卸（鋼桁等）</p>  <p>（2）現場取卸（鋼管杭）</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
クレーン規格													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 16t 吊													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 20t 吊													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 25t 吊													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 35t 吊													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 50t 吊													
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊													
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊													
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊													
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊													
積算上の注意事項	II-2-②-1	(控え頁)	1/7										

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表2.2 現場取卸(鋼桁) 代表機材規格一覧

代表機材規格			備考
項目	代表機材規格		
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50t 吊	賃料
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]100t 吊	賃料
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]120t 吊	賃料
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]160t 吊	賃料
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]200t 吊	賃料
K 2	—		
K 3	—		
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	とび工	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

前頁から移動
→
次頁へ移動

23. 施工パッケージ
23-1 現場取卸(鋼桁)
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表23.1 現場取卸(鋼桁) 積算条件区分一覧
(積算単位: t)

クレーン規格	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]	16t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]	20t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]	25t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]	35t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]	50t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊

(注) 1. 上表は、鋼桁の現場取卸、玉掛ワイヤー、シャックル、介錯ロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。
2. 規格は最大部材質量等により決定する。
3. 直接工事費に計上する。
4. 現場条件により上表によりがたい場合は、別途考慮する。

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁) 2/7
----------	--	--------------

工 種	現場取卸工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

--	--	--

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表43.2 現場取卸(鋼桁) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)〕16t 吊	賃料
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)〕20t 吊	賃料
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)〕25t 吊	賃料
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)〕35t 吊	賃料
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊	賃料
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)〕50t 吊	賃料
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t 吊	賃料
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t 吊	賃料
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t 吊	賃料
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t 吊	賃料
K 2	—	
K 3	—	
労務	R 1	普通作業員とび工
	R 2	土木士普通作業員
	R 3	土木 一般世話役
	R 4	—
材料	Z 1	—
	Z 2	—
	Z 3	—
	Z 4	—
市場単価	S	—

前頁から移動 →

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁) 3/7
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																
現	行	改	正																																																																															
<p>2-2 現場取卸(PC桁) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 現場取卸(PC桁) 積算条件区分一覧 (積算単位:本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>16t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>20t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>25t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>35t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>45t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>60t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>100t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>120t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>160t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>200t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC桁の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 規格は最大部材質量等により決定する。 3. 直接工事費に計上する。</p> <p>(2) 代表機旁材規格 下表機旁材は、当該施工パッケージで使用されている機旁材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 現場取卸(PC桁) 代表機旁材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機旁材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">機械</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>16t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>20t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>35t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>45t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>50t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>100t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>120t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>160t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>200t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">労務</td> <td rowspan="5"></td> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-㉔-3</p>		クレーン規格		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	60t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊	項目	代表機旁材規格		備考	機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	50t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊	賃料	労務		K2	—		K3	—		R1	普通作業員		R2	とび工		R3	—		R4	—		削除		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
クレーン規格																																																																																		
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16t 吊																																																																																	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20t 吊																																																																																	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25t 吊																																																																																	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35t 吊																																																																																	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊																																																																																	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	60t 吊																																																																																	
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊																																																																																	
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊																																																																																	
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊																																																																																	
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊																																																																																	
項目	代表機旁材規格		備考																																																																															
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16t 吊	賃料																																																																														
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20t 吊	賃料																																																																														
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25t 吊	賃料																																																																														
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35t 吊	賃料																																																																														
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊	賃料																																																																														
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	50t 吊	賃料																																																																														
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊	賃料																																																																														
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊	賃料																																																																														
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊	賃料																																																																														
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊	賃料																																																																														
労務		K2	—																																																																															
		K3	—																																																																															
		R1	普通作業員																																																																															
		R2	とび工																																																																															
		R3	—																																																																															
R4	—																																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 4/7																																																																															

工 種	現場取卸工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																										
現	行	改	正																																																																																									
備	考																																																																																											
<p>2-3 現場取卸（鋼管杭）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>現場取卸（鋼管杭）の積算条件区分はない。 積算単位は、tとする。 (注) 鋼管杭の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機勞材規格</p> <p>下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <table border="1" data-bbox="360 916 909 1238"> <caption>表2.5 現場取卸(鋼管杭) 代表機勞材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-㉔-4</p>	項目	代表機勞材規格	備考	機械	K 1 ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 -		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>2-3-2 現場取卸（鋼管杭）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>現場取卸（鋼管杭）の積算条件区分はない。 積算単位は、tとする。 (注) 鋼管杭の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 現場取卸(鋼管杭) 積算条件区分一覧 (積算単位:t)</p> <table border="1" data-bbox="1256 547 1688 724"> <thead> <tr> <th>クレーン規格</th> <th>(積算単位:t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊</td> <td>16t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊</td> <td>20t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊</td> <td>25t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊</td> <td>35t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊</td> <td>45t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊</td> <td>50t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊</td> <td>65t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、鋼管杭の現場取卸、玉掛ワイヤー、ジャックル、介錯ロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 規格は最大部材質量等により決定する。 3. 直接工事費に計上する。 4. 現場条件により上表によりがたい場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機勞材規格</p> <p>下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <table border="1" data-bbox="1173 900 1771 1254"> <caption>表3.54 現場取卸(鋼管杭) 代表機勞材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">機械</td> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 1 普通作業員とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">市場単価</td> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	クレーン規格	(積算単位:t)	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊	16t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊	20t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊	25t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊	35t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊	45t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊	50t 吊	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊	65t 吊	項目	代表機勞材規格	備考	機械	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊	賃料	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊	賃料	労務	K 2 -		K 3 -		R 1 普通作業員とび工		R 2 土木一般世話役普通作業員		材料	R 3 土木一般世話役		R 4 -		Z 1 -		Z 2 -		市場単価	Z 3 -		Z 4 -		S -		記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)
項目	代表機勞材規格	備考																																																																																										
機械	K 1 ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	賃料																																																																																										
	K 2 -																																																																																											
	K 3 -																																																																																											
労務	R 1 普通作業員																																																																																											
	R 2 土木一般世話役																																																																																											
	R 3 -																																																																																											
	R 4 -																																																																																											
材料	Z 1 -																																																																																											
	Z 2 -																																																																																											
	Z 3 -																																																																																											
	Z 4 -																																																																																											
市場単価	S -																																																																																											
クレーン規格	(積算単位:t)																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊	16t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊	20t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊	25t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊	35t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊	45t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊	50t 吊																																																																																											
ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊	65t 吊																																																																																											
項目	代表機勞材規格	備考																																																																																										
機械	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕16t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕20t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕35t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕50t 吊	賃料																																																																																										
	ラフテレンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕65t 吊	賃料																																																																																										
労務	K 2 -																																																																																											
	K 3 -																																																																																											
	R 1 普通作業員とび工																																																																																											
	R 2 土木一般世話役普通作業員																																																																																											
材料	R 3 土木一般世話役																																																																																											
	R 4 -																																																																																											
	Z 1 -																																																																																											
	Z 2 -																																																																																											
市場単価	Z 3 -																																																																																											
	Z 4 -																																																																																											
	S -																																																																																											
	積算上の注意事項			(控え頁) 5/7																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行		備 考																																																																																														
<p>3. 施工単価入力基準表 (1) 現場取卸(鋼桁)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB225210</td> <td>施工単位</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>クレーン規格 (表3.1)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーン又はトラッククレーンの夜間補正を行った場合は、労務費調整係数も入力する。 2. 工場での積込費は計上しないこと。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 クレーン規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格</th> <th>番号</th> <th>規格</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t吊</td> <td>①</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕50t吊</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t吊</td> <td>②</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t吊</td> <td>③</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t吊</td> <td>④</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊</td> <td>⑤</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊</td> <td>⑩</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 現場取卸(P C 桁)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB225220</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>クレーン規格 (表3.1)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーン又はトラッククレーンの夜間補正を行った場合は、労務費調整係数も入力する。 2. 工場での積込費は計上しないこと。</p> <p style="text-align: center;">II-2-㉔-5</p>		パッケージコード	CB225210	施工単位	t	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		クレーン規格 (表3.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)		規格	番号	規格	番号	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t吊	①	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕50t吊	⑥	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t吊	②	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊	⑦	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t吊	③	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊	⑧	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t吊	④	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊	⑨	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	⑤	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊	⑩	パッケージコード	CB225220	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		クレーン規格 (表3.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)		<p>34. 施工単価入力基準表 (1) 現場取卸(鋼桁)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB225210</td> <td>施工単位</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>クレーン規格 (表3.4.1)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーン又はトラッククレーンの夜間補正を行った場合は、労務費調整係数も入力する。 2. 工場での積込費は計上しないこと。</p> <p style="text-align: center;">表3.4.1 クレーン規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格</th> <th>番号</th> <th>規格</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕16t吊</td> <td>①</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕50t吊</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕20t吊</td> <td>②</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕25t吊</td> <td>③</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕35t吊</td> <td>④</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊</td> <td>⑤</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊</td> <td>⑩</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">削除</p>		パッケージコード	CB225210	施工単位	t	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		クレーン規格 (表3.4.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)		規格	番号	規格	番号	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕16t吊	①	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕50t吊	⑥	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕20t吊	②	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊	⑦	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕25t吊	③	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊	⑧	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕35t吊	④	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊	⑨	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	⑤	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊	⑩
パッケージコード	CB225210	施工単位	t																																																																																													
施工区分	入 力 条 件																																																																																															
各 種	J 1	J 2																																																																																														
	クレーン規格 (表3.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)																																																																																														
規格	番号	規格	番号																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t吊	①	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕50t吊	⑥																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t吊	②	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊	⑦																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t吊	③	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊	⑧																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t吊	④	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊	⑨																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	⑤	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊	⑩																																																																																													
パッケージコード	CB225220	施工単位	本																																																																																													
施工区分	入 力 条 件																																																																																															
各 種	J 1	J 2																																																																																														
	クレーン規格 (表3.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)																																																																																														
パッケージコード	CB225210	施工単位	t																																																																																													
施工区分	入 力 条 件																																																																																															
各 種	J 1	J 2																																																																																														
	クレーン規格 (表3.4.1)	ラフテレーンクレーン 又はトラッククレーン 賃料補正 ①標準 ②標準以外(実数入力)																																																																																														
規格	番号	規格	番号																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕16t吊	①	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕50t吊	⑥																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕20t吊	②	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t吊	⑦																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕25t吊	③	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t吊	⑧																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第42次基準値)〕35t吊	④	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t吊	⑨																																																																																													
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	⑤	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t吊	⑩																																																																																													

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項	(控え頁) 6/7
----------	--------------

工 種	現場取卸工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(3) 現場取卸 (鋼管杭)

パッケージコード	CR225230	施工単位	t
施工区分	入 力 条 件		
	J 1		
各 種	ラフテレンクレーンの 賃料補正		
	①標準 ②標準以外(実数入力)		

(注) ラフテレンクレーンの夜間補正を行った場合は、労務費調整係数も入力する。



(3-2) 現場取卸 (鋼管杭)

パッケージコード	CR225230	施工単位	t
施工区分	入 力 条 件		
	J 1		
各 種	クレーン規格 (表4.2)	ラフテレンクレーンの 賃料補正	
		①標準 ②標準以外(実数入力)	

(注) ラフテレンクレーンの夜間補正を行った場合は、労務費調整係数も入力する。

表4.2クレーン規格

規格	番号
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 16t吊	①
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 20t吊	②
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t吊	③
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 35t吊	④
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準値)] 45t吊	⑤
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 50t吊	⑥
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)] 65t吊	⑦

記載の修正・削除
(掛掛改定に伴う)

II-2-②-6

積算上の注意事項		(控え頁) 7/7
----------	--	--------------

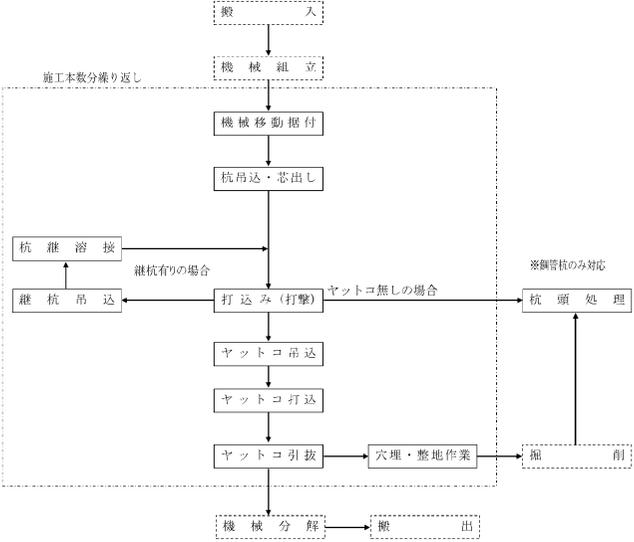
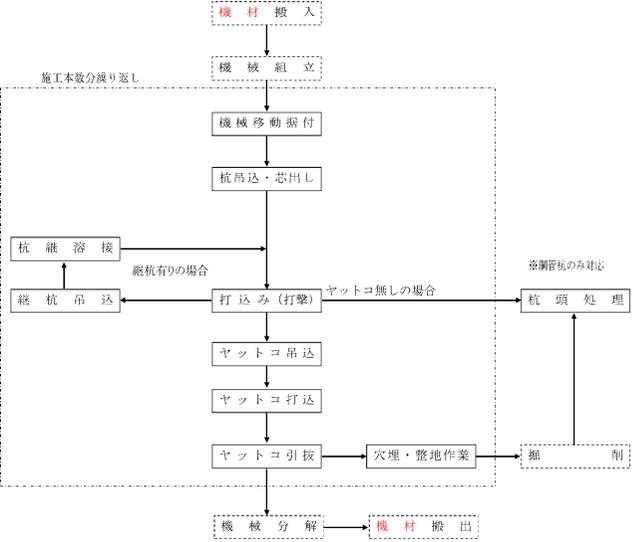
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																									
<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 自走式破砕機設置(撤去) 1台1回当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB225300</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>n</td> </tr> <tr> <td>自走式破砕機運転</td> <td>ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 骨材再生上100m³当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB225310</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>n</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m³(平積0.5m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.3 必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m³(平積0.7m³)</td> <td>人</td> <td>100/D</td> <td>表4.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>自走式破砕機運転</td> <td>ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm</td> <td>人</td> <td>100/D</td> <td>表4.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m³)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">大 型 ブ レ ー カ</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m³(平積0.5m³)</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.15</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級</td> <td>機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.15</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m³(平積0.7m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.12</td> </tr> <tr> <td>自 走 式 破 砕 機</td> <td>ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→177 機械損料数量→1.69</td> </tr> </table> <p>(注) 自走式破砕機の運転歩掛は施工歩掛に含まれている。</p>		施工歩掛コード		WB225300			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.2	特殊作業員		人		n	自走式破砕機運転	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	日		表3.2 機械損料	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	人		表3.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表3.3	計					施工歩掛コード		WB225310			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3	特殊作業員		人	1×100/D	n	大型ブレーカ運転	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	日	100/D	表4.3 必要に応じて計上 機械損料	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	人	100/D	表4.3 機械損料	自走式破砕機運転	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	人	100/D	表4.3 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	大 型 ブ レ ー カ	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.15	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級	機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.15	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.12	自 走 式 破 砕 機	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→1.69	<p>現行どおり</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">大 型 ブ レ ー カ</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m³(平積0.5m³)</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.15 1.16</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級</td> <td>機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.15 1.16</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m³(平積0.7m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.12 1.13</td> </tr> <tr> <td>自 走 式 破 砕 機</td> <td>ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→177 機械損料数量→1.69 1.71</td> </tr> </table> <p>(注) 自走式破砕機の運転歩掛は施工歩掛に含まれている。</p>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	大 型 ブ レ ー カ	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ 1.15 1.16	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級	機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→ 1.15 1.16	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 1.12 1.13	自 走 式 破 砕 機	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→ 1.69 1.71	記載の変更
施工歩掛コード		WB225300																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																								
土木一般世話役		人		表3.2																																																																																																																								
特殊作業員		人		n																																																																																																																								
自走式破砕機運転	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	日		表3.2 機械損料																																																																																																																								
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	人		表3.2 機械損料																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																																																																								
計																																																																																																																												
施工歩掛コード		WB225310																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																								
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.2, 表4.3																																																																																																																								
特殊作業員		人	1×100/D	n																																																																																																																								
大型ブレーカ運転	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	日	100/D	表4.3 必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																								
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	人	100/D	表4.3 機械損料																																																																																																																								
自走式破砕機運転	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	人	100/D	表4.3 機械損料																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																																								
計																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																									
大 型 ブ レ ー カ	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.15																																																																																																																									
	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級		機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→1.15																																																																																																																									
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→1.12																																																																																																																									
自 走 式 破 砕 機	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→1.69																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																									
大 型 ブ レ ー カ	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.6m ³ (平積0.5m ³)	機-20	機械損料1→バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ 1.15 1.16																																																																																																																									
	大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [前圧式]質量600~800kg級		機械損料2→大型ブレーカ 機械損料数量→ 1.15 1.16																																																																																																																									
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.0m ³ (平積0.7m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→ 1.12 1.13																																																																																																																									
自 走 式 破 砕 機	ジョークラッシュヤ 機械質量30t級 供給口開×幅 450×925mm	機-24	燃料消費量→177 機械損料数量→ 1.69 1.71																																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																									

工 種	排水材設置工
-----	--------

改正理由	新規	改正 現行																									
現 行	改 正		備 考																								
<p style="text-align: center;">現行なし</p>	<p>㊦ 排水材設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、構造物（橋台、擁壁、ボックスカルバート等）埋戻し背面のコンクリート面に帯状の排水材（全透水性（立体網状体及びメッシュチューブ型等）を設置する作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート釘、接着剤、固定金具等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 200mm 以上 600mm 以下、厚 20mm 以上 50mm 以下の場合。 1-2 適用出来ない範囲 (1) 構造物埋戻し背面の補強土壁に帯状の排水材を設置する場合。 (2) 土砂部及び岩盤部（土工面）に設置する帯状の排水材の場合。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 施工歩掛 排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 排水材設置歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">製品幅 (mm) 及び 厚 (mm)</th> <th colspan="2">幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td></td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>排 水 材</td> <td>m</td> <td></td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、現場内小運搬を含む。 2. 埋戻しは含まない。 3. 排水材の重ね合せ及び切断ロスによる材料ロスを含む。標準ロス率は、+0.05とする。 4. 諸雑費は、ハンマー・充電式電動ハンマドリルの掛料及びコンクリート釘・固定板・座金（コンクリート釘による固定の場合）、刷毛・接着剤（接着剤による固定の場合）、チューブ式接着剤・粘着布テープ（固定金具による固定の場合）等の費用であり、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 固定金具を用いて固定する金具材料の材料費は、必要に応じて別途計上する。 6. 水抜きパイプ等に接続する継手材料の材料費及び施工費は、必要に応じて別途計上する。</p>		製品幅 (mm) 及び 厚 (mm)		幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下		名 称	単 位			土 木 一 般 世 話 役	人		0.03	普 通 作 業 員	"		0.26	排 水 材	m		10.5	諸 雑 費 率	%		1	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
製品幅 (mm) 及び 厚 (mm)		幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下																									
名 称	単 位																										
土 木 一 般 世 話 役	人		0.03																								
普 通 作 業 員	"		0.26																								
排 水 材	m		10.5																								
諸 雑 費 率	%		1																								
<p>積算上の注意事項</p>			<p>(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">1/2</p>																								

工 種	排水材設置工
-----	--------

改正理由	新規	改正 現行																																				
現 行	改 正	備 考																																				
現行なし	<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 排水材設置 10m当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB228510</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td># × 10 × (1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 排水材設置</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB228510</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、排水材の材料ロスを含んでいるため、施工数量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. 排水材材料費 (Y-1230000) [円/m] を単価登録すること。</p>	施工歩掛コード	WB228510	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	普通作業員		#		#	排水材		m		# × 10 × (1+ロス率)	諸雑費		式	1	#	計					施工歩掛コード	WB228510	施工単位	m	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード	WB228510																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																		
土木一般世話役		人		表3.1																																		
普通作業員		#		#																																		
排水材		m		# × 10 × (1+ロス率)																																		
諸雑費		式	1	#																																		
計																																						
施工歩掛コード	WB228510	施工単位	m																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">第3章 基礎工</p> <p>① 鋼管・既製コンクリート杭打工</p> <p>①-1 パイルハンマ工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、油圧パイルハンマによる鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC杭を含む）の杭打ち作業（直杭）、ヤットコ使用時の穴埋作業、杭頭処理（鋼管杭のみ）に適用する。斜杭については、別途考慮する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p style="text-align: center;">II-3-①-1</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行																				
<p>現 行</p> <p>(2) 既製コンクリート杭の場合</p> <p>(注) 1. 杭の打込長10m以上で下記の条件の場合には、1ランク大きい規格を用いる。 ① N値30以上で層厚3m以上の砂、砂レキの中間層を打抜く場合。 ② N値15以上で層厚3m以上の粘性土を打抜く場合。 2. 杭の打込長(m)には、ヤットコ打込長(m)を含む。 3. N値は、掘削層の加重平均とする。</p> <p>図3-2 既製コンクリート杭打ちの油圧パイルハンマの選定</p> <p>4. 編 成 人 員 杭打機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="336 869 795 981"> <caption>表4.1 編成人員 (人)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">杭の種類</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">土 木 一 般 役 員</th> </tr> <tr> <th>主 事</th> <th>技 師</th> <th>工 務 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 管 杭</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1 (2)</td> </tr> <tr> <td>既製コンクリート杭</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 杭打機の運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」による。 2. 継杭を施工しない場合には、溶接工は計上しない。 3. 鋼管杭径φ80mm以上の継杭施工における溶接工は、()内の数値を計上する。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭10本当り施工日数 (T_d) 杭10本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合 $T_d = \alpha \cdot T_s \cdot \beta \cdot (日/10本)$ 既製コンクリート杭の場合 $T_d = T_s \cdot \beta \cdot (日/10本)$ T_d : 杭10本当り施工日数 (日/10本) α : 板厚係数 T_s : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコ打ちを含む) (日/10本) β : 作業係数 (ヤットコ使用の場合及び杭の打込長10m以下は、β = 1)</p> <p>II-3-①-3</p>		杭の種類	職 種	土 木 一 般 役 員			主 事	技 師	工 務 員	鋼 管 杭		1	2	1 (2)	既製コンクリート杭		1	2	1	<p>改 正</p> <p>現行どおり</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭10本当り施工日数 (T_d) 杭10本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合 $T_d = \alpha \cdot T_s \cdot \beta \cdot (日/10本)$ 既製コンクリート杭の場合 $T_d = T_s \cdot \beta \cdot (日/10本)$ T_d : 杭10本当り施工日数 (日/10本) α : 板厚係数 T_s : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコ打ちを含む) (日/10本) β : 作業係数 (ヤットコ使用の場合及び杭の打込長10m以下は、β = 1)</p>		備 考
杭の種類	職 種			土 木 一 般 役 員																		
		主 事	技 師	工 務 員																		
鋼 管 杭		1	2	1 (2)																		
既製コンクリート杭		1	2	1																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																			

記載の修正

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																												
	現 行	改 正																																																													
(3) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">クローラ式杭打機</td> <td rowspan="5">油圧ハンマ 直結三点支持式</td> <td rowspan="5">機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.75 燃料消費量 →下記のとおりとする。</td> </tr> <tr> <td>ラム質量</td> <td>燃料消費量 (€/日)</td> </tr> <tr> <td>2 t</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>4~4.5 t</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>6.5~8 t</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>10~12.5 t</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.12</td> </tr> </tbody> </table> (4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気溶接機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→27</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.75 燃料消費量 →下記のとおりとする。	ラム質量	燃料消費量 (€/日)	2 t	87	4~4.5 t	129	6.5~8 t	148	10~12.5 t	177	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6	クローラクレーン	油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.12	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→27	(3) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">クローラ式杭打機</td> <td rowspan="5">油圧ハンマ 直結三点支持式</td> <td rowspan="5">機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.75 1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。</td> </tr> <tr> <td>ラム質量</td> <td>燃料消費量 (€/日)</td> </tr> <tr> <td>2 t</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>4~4.5 t</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>6.5~8 t</td> <td>148125</td> </tr> <tr> <td>10~12.5 t</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.12 1.13</td> </tr> </tbody> </table> 現行どおり	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ 1.75 1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。	ラム質量	燃料消費量 (€/日)	2 t	87	4~4.5 t	129	6.5~8 t	148 125	10~12.5 t	177	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6	クローラクレーン	油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→ 1.12 1.13	記載の変更
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																												
クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.75 燃料消費量 →下記のとおりとする。																																																												
			ラム質量	燃料消費量 (€/日)																																																											
			2 t	87																																																											
			4~4.5 t	129																																																											
			6.5~8 t	148																																																											
10~12.5 t	177																																																														
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6																																																												
クローラクレーン	油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.12																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																												
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→27																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																												
クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ 1.75 1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。																																																												
			ラム質量	燃料消費量 (€/日)																																																											
			2 t	87																																																											
			4~4.5 t	129																																																											
			6.5~8 t	148 125																																																											
10~12.5 t	177																																																														
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6																																																												
クローラクレーン	油圧駆動式クインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→ 1.12 1.13																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																												

改正理由	一部改正	改正 現行															
現	行	改	正														
<p>①-2 中掘工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡根固め工法を含む）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。 なお、適用杭径は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 適用杭径</p> <table border="1" data-bbox="300 568 855 647"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径 (mm)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 掘 工</td> <td rowspan="2">φ100～φ1,000</td> <td>鋼管杭</td> </tr> <tr> <td>既製コンクリート杭</td> </tr> </tbody> </table> <p>掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次図により難い場合は、別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="300 708 546 1098"> <p>図1-1 施工図(グラウト注入)</p> </div> <div data-bbox="613 708 860 1098"> <p>図1-2 施工図(打撃)</p> </div> </div> <p>2. 施工概要 中掘工は、あらかじめ杭中空部にオーガスクリューを挿入、杭建込を行った後、削孔と同時に杭を圧入していく工法である。杭打設後は、杭の支持力低下を補うためにモンケンなどにより杭を打撃し、支持層に1.0から1.5m程度打込む方法と、グラウト材を支持層に注入し杭と一体化させる方法がある。</p> <p style="text-align: center;">II-3-①-10</p>	工 法	杭 径 (mm)	摘 要	中 掘 工	φ100～φ1,000	鋼管杭	既製コンクリート杭	<p>①-2 中掘工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡根固め工法を含む）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。 なお、適用杭径は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 適用杭径</p> <table border="1" data-bbox="1167 568 1722 647"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径 (mm)</th> <th>杭 種 類 摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 掘 工</td> <td rowspan="2">φ100～φ1,000</td> <td>鋼管杭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既製コンクリート杭</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	工 法	杭 径 (mm)	杭 種 類 摘 要	中 掘 工	φ100～φ1,000	鋼管杭		既製コンクリート杭	<p>備考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
工 法	杭 径 (mm)	摘 要															
中 掘 工	φ100～φ1,000	鋼管杭															
		既製コンクリート杭															
工 法	杭 径 (mm)	杭 種 類 摘 要															
中 掘 工	φ100～φ1,000	鋼管杭															
		既製コンクリート杭															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/8														

改正理由	一部改正	改正 現 行	
現 行	改 正		備 考
<p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本非番で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ヤットコは必要により施工する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>II-3-①-11</p>	<p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本非番で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ヤットコは必要により施工する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>		<p>記載の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/8

改正理由	一部改正	改正		備考																																																																																																																								
		現	行																																																																																																																									
<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">杭 径 (mm)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ400以上φ800未満</th> <th rowspan="2">杭径 φ800以上 φ1000未満</th> </tr> <tr> <th>掘削長 32m以下</th> <th>掘削長 32m超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クローラ式 アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="2">打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む</td> </tr> <tr> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラ式</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.45m (平積0.35m)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員</p> <p>日 当 り 編 成 人 員 は、次 表 を 標 準 と する。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 法</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">土 木 一 般 職 業 者</th> <th rowspan="2">溶 接 工</th> </tr> <tr> <th>土 世 話</th> <th>と び 工</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>溶 接 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 掘 工</td> <td>打 撃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>グラウト注入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工は計上しない。</p> <p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>5-1 杭10本当り施工日数 (T_d)</p> <p>杭10本当り施工日数は、次式による。</p> <p>鋼管杭の場合</p> $T_d = \alpha \cdot \beta \cdot T_s \cdot (日/10本)$ <p>既製コンクリート杭の場合</p> $T_d = \alpha \cdot T_s \cdot (日/10本)$ <p>α : 土質係数 β : 板厚係数 T_s : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用出来るものとする。)</p> <p>(1) 土質係数 (α)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土 質 係 数 (α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>N 値 の 範 囲</th> <th>20未満</th> <th>20以上10未満</th> <th>40以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 質 係 数</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N値は、掘削層の加重平均とする。</p>		機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)			摘 要	φ400以上φ800未満		杭径 φ800以上 φ1000未満	掘削長 32m以下	掘削長 32m超え	クローラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	-	-	打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	"	-	1	1	クローラ式	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊	"	1	-	1		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊	"	-	-	1	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.45m (平積0.35m)	"	1	-	1	掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)	工 法	職 種	土 木 一 般 職 業 者					溶 接 工	土 世 話	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工	中 掘 工	打 撃	1	1	-	1	1	グラウト注入	1	1	1	1	1	N 値 の 範 囲	20未満	20以上10未満	40以上	土 質 係 数	1.00	1.13	1.27	<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">杭 径 (mm)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ400以上φ800未満</th> <th rowspan="2">杭径 φ800以上 φ1000未満</th> </tr> <tr> <th>掘削長 32m以下</th> <th>掘削長 32m超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クローラ式 アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="2">打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む</td> </tr> <tr> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラ式</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.545m (平積0.495m)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>5-1 杭10本当り施工日数 (T_d)</p> <p>杭10本当り施工日数は、次式による。</p> <p>鋼管杭の場合</p> $T_d = \alpha \cdot \beta \cdot T_s \cdot (日/10本)$ <p>既製コンクリート杭の場合</p> $T_d = \alpha \cdot T_s \cdot (日/10本)$ <p>α : 土質係数 β : 板厚係数 T_s : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用出来るものとする。)</p>		機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)			摘 要	φ400以上φ800未満		杭径 φ800以上 φ1000未満	掘削長 32m以下	掘削長 32m超え	クローラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	-	-	打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	"	-	1	1	クローラ式	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊	"	1	-	1		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊	"	-	-	1	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.545m (平積0.495m)	"	1	-	1	掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
機 械 名	規 格				単 位	杭 径 (mm)			摘 要																																																																																																																			
						φ400以上φ800未満				杭径 φ800以上 φ1000未満																																																																																																																		
		掘削長 32m以下	掘削長 32m超え																																																																																																																									
クローラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	-	-	打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む																																																																																																																						
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	"	-	1	1																																																																																																																							
クローラ式	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊	"	1	-	1																																																																																																																							
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊	"	-	-	1																																																																																																																							
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.45m (平積0.35m)	"	1	-	1	掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)																																																																																																																						
工 法	職 種	土 木 一 般 職 業 者					溶 接 工																																																																																																																					
		土 世 話	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工																																																																																																																						
中 掘 工	打 撃	1	1	-	1	1																																																																																																																						
	グラウト注入	1	1	1	1	1																																																																																																																						
N 値 の 範 囲	20未満	20以上10未満	40以上																																																																																																																									
土 質 係 数	1.00	1.13	1.27																																																																																																																									
機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)			摘 要																																																																																																																						
			φ400以上φ800未満		杭径 φ800以上 φ1000未満																																																																																																																							
			掘削長 32m以下	掘削長 32m超え																																																																																																																								
クローラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	-	-	打撃方式で施工する 場合のモンケン 10tを含む																																																																																																																						
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	"	-	1	1																																																																																																																							
クローラ式	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 50～55t吊	"	1	-	1																																																																																																																							
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 80t吊	"	-	-	1																																																																																																																							
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 掘削型・超硬合金型 (第2次基準値) 山積0.545m (平積0.495m)	"	1	-	1	掘削土の処理作業 (穴埋作業及び掘 易な整正を含む)																																																																																																																						
積算上の注意事項		II-3-①-12		(控え頁) 3/8																																																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

(2) 板厚係数(β)
鋼管杭で板厚の異なる継杭の場合には、最小板厚の板厚係数とする。また、既製コンクリート杭の場合は計上しない。

表5.2 板厚係数(β)

掘削長(m)	板 厚 (mm)			
	9~10	11~12	13~14	15~16
16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00
16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26
32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34
48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38

(3) 杭種、施工方法別施工日数(T_s)

① 鋼管杭(グラウト方式)

表5.3 鋼管杭(グラウト方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.76	1.84	1.89	1.96	2.06	2.19	2.34
16mを超え32m以下	3.36	3.65	3.86	4.12	4.38	4.68	5.02
32mを超え48m以下	4.97	5.46	5.83	6.28	6.70	7.16	7.69
48mを超え64m以下	6.57	7.27	7.80	8.44	9.03	9.64	10.36

② 鋼管杭(打撃方式)

表5.4 鋼管杭(打撃方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00
16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.88	4.09	4.27	4.46	4.67
32mを超え48m以下	5.04	5.50	5.85	6.25	6.59	6.94	7.34
48mを超え64m以下	6.65	7.31	7.82	8.41	8.92	9.42	10.01

③ 既製コンクリート杭(グラウト方式)

表5.5 既製コンクリート杭(グラウト方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.75	1.85	1.90	1.97	2.07	2.19	2.34
16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.87	4.07	4.27	4.53	4.87
32mを超え48m以下	5.13	5.53	5.84	6.18	6.48	6.87	7.40
48mを超え64m以下	6.82	7.37	7.82	8.28	8.69	9.21	9.93

II-3-①-13

現行どおり

表5.3 鋼管杭(グラウト方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.76 1.78	1.84 1.86	1.89 1.91	1.96 1.98	2.06 2.09	2.19 2.22	2.34 2.37
16mを超え32m以下	3.36 3.41	3.65 3.69	3.86 3.91	4.12 4.17	4.38 4.44	4.68 4.73	5.02 5.08
32mを超え48m以下	4.97 5.03	5.46 5.52	5.83 5.90	6.28 6.36	6.70 6.79	7.16 7.25	7.69 7.78
48mを超え64m以下	6.57 6.65	7.27 7.36	7.80 7.90	8.44 8.55	9.03 9.14	9.64 9.76	10.36 10.49

② 鋼管杭(打撃方式)

表5.4 鋼管杭(打撃方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.84 1.86	1.88 1.91	1.91 1.93	1.93 1.95	1.95 1.97	1.97 2.00	2.00 2.02
16mを超え32m以下	3.44 3.48	3.69 3.74	3.88 3.92	4.09 4.14	4.27 4.33	4.46 4.51	4.67 4.73
32mを超え48m以下	5.04 5.10	5.50 5.57	5.85 5.92	6.25 6.33	6.59 6.68	6.94 7.02	7.34 7.43
48mを超え64m以下	6.65 6.73	7.31 7.40	7.82 7.91	8.41 8.51	8.92 9.03	9.42 9.51	10.01 10.14

③ 既製コンクリート杭(グラウト方式)

表5.5 既製コンクリート杭(グラウト方式)(T_s)

(日/10本)

掘削長(m)	杭 径 (mm)						
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.75 1.77	1.85 1.87	1.90 1.93	1.97 2.00	2.07 2.09	2.19 2.22	2.34 2.37
16mを超え32m以下	3.44 3.48	3.69 3.73	3.87 3.92	4.07 4.12	4.27 4.33	4.53 4.59	4.87 4.93
32mを超え48m以下	5.13 5.19	5.53 5.60	5.84 5.92	6.18 6.25	6.48 6.56	6.87 6.95	7.40 7.49
48mを超え64m以下	6.82 6.90	7.37 7.46	7.82 7.91	8.28 8.38	8.69 8.79	9.21 9.32	9.93 10.05

記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 4/8
----------	--	--------------

工 種	中掘工
-----	-----

改正理由	一部改正	改正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

④ 既製コンクリート杭（打撃方式）

表5.6 既製コンクリート杭(打撃方式)(T.) (日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	φ100以上 φ300未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00
16mを超え32m以下	3.53	3.72	3.88	4.03	4.16	4.31	4.53
32mを超え48m以下	5.22	5.56	5.85	6.14	6.36	6.65	7.05
48mを超え64m以下	6.91	7.40	7.82	8.24	8.57	8.99	9.58

5-2 杭頭処理

杭頭処理については、「第II編第3章④鋼管・既製コンクリート杭打撃①-1パイロハンマ工及び①-5杭頭処理工」による。

5-3 諸雑費

諸雑費は、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に表5.7～表5.10の率を乗じた金額を上限として計上する。

(1) 鋼管杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びビストッパー、銅バンド、すれ止め、すれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びすれ止め、すれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。

表5.7 諸雑費率(鋼管杭) (%)

雑 杭 の 有 無	諸 雑 費 率
雑 杭 無 し	27
雑 杭 有 り	27

(注) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

(2) 既製コンクリート杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。

表5.8 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)

雑 杭 の 有 無	諸 雑 費 率
雑 杭 無 し	9
雑 杭 有 り	22

II-3-①-14

④ 既製コンクリート杭（打撃方式）

表5.6 既製コンクリート杭(打撃方式)(T.) (日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	φ100以上 φ300未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000
16m以下	1.84 1.86	1.88 1.91	1.91 1.93	1.93 1.95	1.95 1.97	1.97 2.00	2.00 2.02
16mを超え32m以下	3.53 3.57	3.72 3.77	3.88 3.92	4.03 4.08	4.16 4.21	4.31 4.37	4.53 4.58
32mを超え48m以下	5.22 5.28	5.56 5.63	5.85 5.92	6.14 6.21	6.36 6.44	6.65 6.73	7.05 7.14
48mを超え64m以下	6.91 6.99	7.40 7.49	7.82 7.91	8.24 8.31	8.57 8.65	8.99 9.10	9.58 9.70

5-2 杭頭処理

杭頭処理については、「第II編第3章④鋼管・既製コンクリート杭打撃①-1パイロハンマ工及び①-5杭頭処理工」により別途計上する。

5-3 諸雑費

諸雑費は、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に表5.7～表5.10の率を乗じた金額を上限として計上する。

(1) 鋼管杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（**労務費、材料費を含む**）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びビストッパー、銅バンド、すれ止め、すれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、**交流半自動**アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びすれ止め、すれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。

表5.7 諸雑費率(鋼管杭) (%)

雑 杭 の 有 無	諸 雑 費 率
雑 杭 無 し	27 32
雑 杭 有 り	27 37

(注) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

(2) 既製コンクリート杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、**交流半自動**アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。

表5.8 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)

雑 杭 の 有 無	諸 雑 費 率
雑 杭 無 し	9 24
雑 杭 有 り	22 28

記載の変更

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																								
現 行		改 正	備 考																								
	<p>(3) 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びびSTOPパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用STOPパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用STOPパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 拡大根固め工法も上表の率を適用する。 2. 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。</p> <p>(4) 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.10 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p>	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	51	継杭有り	36	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	35	継杭有り	31	<p>(3) 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びびSTOPパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用STOPパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用STOPパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 拡大根固め工法も上表の率を適用する。 2. 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。</p> <p>(4) 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.10 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p>	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	58	継杭有り	48	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	52	継杭有り	40	記載の変更
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	51																										
継杭有り	36																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	35																										
継杭有り	31																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	58																										
継杭有り	48																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	52																										
継杭有り	40																										
積算上の注意事項			(控え頁) 6/8																								

工 種	中掘工
-----	-----

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																																																																																																																																																																																																						
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																																																																					
備 考																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 中掘工 (打撃止め) による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">WB230210</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_a×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機運転</td> <td>日</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>パックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.7, 表5.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) T_a: 杭10本当り施工日数(日/10本)</p> <p>(2) 中掘工(グラウト注入)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">WB230210</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_a×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機運転</td> <td>日</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>パックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.9, 表5.10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) T_a: 杭10本当り施工日数(日/10本)</p>	施工歩掛コード		WB230210		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1	溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する	とび工		〃	T ₃ ×1	表4.1	普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料	パックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)	〃	T _a	表3.1 機械損料	諸雑費		式	1	表5.7, 表5.8	計					施工歩掛コード		WB230210		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1	溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する	特殊作業員		〃	T ₃ ×1	表4.1	とび工		〃	T ₃ ×1	〃	普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料	パックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)	〃	T _a	表3.1 機械損料	諸雑費		式	1	表5.9, 表5.10	計					<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 中掘工 (打撃止め) による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">WB230210</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_a×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機運転</td> <td>日</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>パックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.7, 表5.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) T_a: 杭10本当り施工日数(日/10本)</p> <p>(2) 中掘工(グラウト注入)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">WB230210</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_a×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T₃×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機運転</td> <td>日</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>パックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)</td> <td>〃</td> <td>T_a</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.9, 表5.10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) T_a: 杭10本当り施工日数(日/10本)</p>	施工歩掛コード		WB230210		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1	溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する	とび工		〃	T ₃ ×1	表4.1	普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料	パックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)	〃	T _a	表3.1 機械損料	諸雑費		式	1	表5.7, 表5.8	計					施工歩掛コード		WB230210		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1	溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する	特殊作業員		〃	T ₃ ×1	表4.1	とび工		〃	T ₃ ×1	〃	普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料	パックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)	〃	T _a	表3.1 機械損料	諸雑費		式	1	表5.9, 表5.10	計					記載の変更
施工歩掛コード		WB230210																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																																				
とび工		〃	T ₃ ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
パックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		式	1	表5.7, 表5.8																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB230210																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	T ₃ ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
とび工		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
パックホウ(クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.45m(平積0.35m)	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		式	1	表5.9, 表5.10																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB230210																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																																				
とび工		〃	T ₃ ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
パックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		式	1	表5.7, 表5.8																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB230210																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	T _a ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接工		〃	T ₃ ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	T ₃ ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																																				
とび工		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
普通作業員		〃	T ₃ ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																																				
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスラフ増・排出ガス対策型(第〇3次基準値)〇〇t吊	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
パックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型排出ガス対策型(第2次基準値2014年現用)山積0.545m(平積0.495m)	〃	T _a	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																				
諸雑費		式	1	表5.9, 表5.10																																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 7/8																																																																																																																																																																																																																																																					

工 種	中掘工
-----	-----

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械損料数量→1.50
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→81 機械損料数量→1.50
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50～55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→51 機械損料数量→1.45
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 80t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→66 機械損料数量→1.45
パ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.50

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 64 57 機械損料数量→ 1.50 1.46
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 81 69 機械損料数量→ 1.50 1.46
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 50～55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 51 56 機械損料数量→ 1.45 1.46
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 80t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 66 82 機械損料数量→ 1.45 1.46
パ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(第2次基準値2014年規 定) 山積0.545㎡(平積0.495㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 37 45 機械損料数量→ 1.50 1.52

記載の変更

7. 施工単価入力基準表

(1) 鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)

施工区分	WB230210 施工単位 本						
	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7
各 種	工 法	杭 種 類	縦 杭 の 有 無	杭 径 区 分	N 値 範 圍	掘 削 長 区 分	鋼 管 杭 板 厚
	① 打撃 ② クラウト注入	① 鋼管杭 ② 既製コンクリート	① 有 ② 無	表 7・1	表 7・2	表 7・3	表 7・4

- (注) 1. J2条件で①を選択した場合は鋼管杭単価(Y-0010001) [円/本]を単価登録すること。なお、単価登録は各エキストラを含む単価を入力すること。ただし、「裏当てリング及びストッパー、銅バンド、すれ止め、すれ止め用ストッパー」に係る材料費、及びこの重量にあたるエキストラについては単価に含まないこと。
 2. J2条件で②を選択した場合はPHC・RC・SC+PHC杭単価(Y-0271000) [円/本]を単価登録すること。
 3. J2条件で②を選択した場合は、J7条件は入力する必要はない。なお、鋼管杭で板厚の異なる縦杭の場合には、薄い板厚の数値を入力すること。
 4. J5条件は、掘削層の加重平均を入力すること。
 5. 杭頭処理は、別途計上すること。

現行どおり

現行どおり

II-3-①-17

積算上の注意事項	(控え頁) 8/8
----------	--------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考
	現 行	改 正	
	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー II-3-①-21</p>	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー</p>	記載の修正
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																			
<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">継杭の有無</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>無 し</th> <th>有 り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラ式クレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m³ (平積 0.4m³)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力 40m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭とは、現場で行う継杭溶接とし、工場で行う継杭溶接は含めない。</p> <p>4. 日当り編成人員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>と</th> <th>び</th> <th>工</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>溶 接 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。なお、現場で行う継杭溶接が1箇所/本の場合は溶接工を計上するが溶接時間は計上しないこととする。 2. 鋼管径が800mm未満については、() 内の数値を計上する。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 杭1本当り施工時間 (T_c) は、次式による。 T_c = T_g + T_s + T_w T_c: 杭1本当り施工時間 (min/本) T_g: ” 固化体部造成時間 (min/本) T_s: ” 準備時間 (min/本) T_w: ” 継杭溶接時間 (min/本)</p> <p>5-1 杭1本当りの固化体造成時間 T_g = T_{g1} + T_{g2} + T_{g3} T_g: 杭1本当り固化体造成時間 (min/本) T_{g1}: 杭1本当り空掘部造成時間 (min/本) T_{g2}: ” 一般部造成時間 (min/本) T_{g3}: ” 先端部造成時間 (min/本)</p> <p style="text-align: center;">II-3-①-22</p>		機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要	無 し	有 り	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	台	1	○	○		クローラ式クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)	”	1	○			油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	”	1		○		バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³)	”	1	○	○		スラリプラント (全自動)	能力 40m ³ /h	”	1	○	○		土木一般世話役	と	び	工	特 殊 作 業 員	溶 接 工	1				1	2 (1)	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">継杭の有無</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>無 し</th> <th>有 り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150 180kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラ式クレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m³ (平積 0.4m³)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力 40m³/h</td> <td>”</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭とは、現場で行う継杭溶接とし、工場で行う継杭溶接は含めない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要	無 し	有 り	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	台	1	○	○		クローラ式クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)	”	1	○			油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	”	1		○		バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³)	”	1	○	○		スラリプラント (全自動)	能力 40m ³ /h	”	1	○	○		備 考
機 械 名	規 格					単 位	数 量		継杭の有無		摘 要																																																																																											
		無 し	有 り																																																																																																			
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	台	1	○	○																																																																																																	
クローラ式クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)	”	1	○																																																																																																		
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	”	1		○																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³)	”	1	○	○																																																																																																	
スラリプラント (全自動)	能力 40m ³ /h	”	1	○	○																																																																																																	
土木一般世話役	と	び	工	特 殊 作 業 員	溶 接 工																																																																																																	
1				1	2 (1)																																																																																																	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要																																																																																																
				無 し	有 り																																																																																																	
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	台	1	○	○																																																																																																	
クローラ式クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型 (第1次基準値)	”	1	○																																																																																																		
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	”	1		○																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³)	”	1	○	○																																																																																																	
スラリプラント (全自動)	能力 40m ³ /h	”	1	○	○																																																																																																	
積算上の注意事項		(控え頁) 2/3																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行																																																																																																																																																																																										
現	行	改	正																																																																																																																																																																																									
<p>8. 単 価 表 (1) 鋼管ソイルセメント杭 1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB232110</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運 転</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q_c</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q_s</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T=鋼管ソイルセメント杭打機運転日当り運転時間は、5.8h/日とする。 2. 鋼管径が800mm未満については、()の人工を計上する。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.19 燃料消費量→13</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2</td> </tr> </tbody> </table>		施工歩掛コード	WB232110	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶 接 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	と び 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃	クローラ式杭打機 運 転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表7.1	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q _c	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材料費		kg	Q _s	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2	<p>8. 単 価 表 (1) 鋼管ソイルセメント杭 1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB232110</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運 転</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150180kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q_c</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q_s</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T=鋼管ソイルセメント杭打機運転日当り運転時間は、5.8h/日とする。 2. 鋼管径が800mm未満については、()の人工を計上する。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150180kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.19 燃料消費量→13</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.17 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2</td> </tr> </tbody> </table>		施工歩掛コード	WB232110	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶 接 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	と び 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃	クローラ式杭打機 運 転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表7.1	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q _c	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材料費		kg	Q _s	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12		油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2	記載の変更
施工歩掛コード	WB232110																																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																																								
溶 接 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃																																																																																																																																																																																								
クローラ式杭打機 運 転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表7.1																																																																																																																																																																																								
セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q _c	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																																																																								
添加材料費		kg	Q _s	式6.2, 表6.3																																																																																																																																																																																								
鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																									
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kW	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13																																																																																																																																																																																									
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12																																																																																																																																																																																									
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18																																																																																																																																																																																									
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2																																																																																																																																																																																									
施工歩掛コード	WB232110																																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																																								
溶 接 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	縦杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃																																																																																																																																																																																								
クローラ式杭打機 運 転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表7.1																																																																																																																																																																																								
セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q _c	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																																																																								
添加材料費		kg	Q _s	式6.2, 表6.3																																																																																																																																																																																								
鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																									
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~ 150 180kW	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13																																																																																																																																																																																									
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65t吊 排出ガス対策型(第1次基準 値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12																																																																																																																																																																																									
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18																																																																																																																																																																																									
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→9.2																																																																																																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																																																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行																																									
現 行		改 正																																									
<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>通用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.48</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 開端タイプを採用する場合は、クローラクレーン (4.9 t 吊) を計上する。</p>		機 械 名	規 格	通用単価表	指 定 事 項	全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.48	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.51	クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-28	運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59	<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.481.49</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.511.53</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 開端タイプを採用する場合は、クローラクレーン (4.9 t 吊) を計上する。</p>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.48 1.49	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.51 1.53	クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-28	運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59
機 械 名	規 格	通用単価表	指 定 事 項																																								
全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.48																																								
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.51																																								
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-28	運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																								
全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド式・ ディーゼル/油圧駆動・回転杭用) 最大掘削径φ2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 機械損料数量→ 1.48 1.49																																								
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 121 機械損料数量→ 1.51 1.53																																								
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	機-28	運転労務数量→ 0.18 燃料消費量→ 2.1 機械損料数量→ 1.64																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 10 機械損料数量→ 1.59																																								
<p>7. 施工単価入力基準表 (1) 回転杭工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB330110</th> <th>施工単位</th> <th>本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J1 羽根区分</td> <td>J2 継杭の有無</td> <td>J3 N値範囲</td> <td>J4 最小板厚</td> <td>J5 杭径区分</td> <td>J6 掘削長</td> </tr> <tr> <td>①開口タイプ ②開端タイプ</td> <td>①有 ②無</td> <td>(表7.1)</td> <td>(表7.2)</td> <td>(表7.3)</td> <td>(表7.4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. J3 条件は、掘削層の加重平均により選択すること。 2. J4 条件で板厚の異なる継杭の場合には、最も薄い板厚の数値を選択すること。 3. 鋼管杭単価 (Y-0010001) [P]/本 を単価登録すること。 4. 杭頭処理は「第II編第3章①鋼管・既製コンクリート杭打工 (バイルハンマ工)」により別途計上すること。</p> <p>表 7. 1 N 値範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>N 値</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N < 20</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>20 ≤ N < 40</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>40 ≤ N</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>		施工歩掛コード	WB330110	施工単位	本	施工区分	入力条件			各種	J1 羽根区分	J2 継杭の有無	J3 N値範囲	J4 最小板厚	J5 杭径区分	J6 掘削長	①開口タイプ ②開端タイプ	①有 ②無	(表7.1)	(表7.2)	(表7.3)	(表7.4)	N 値	入力番号	N < 20	①	20 ≤ N < 40	②	40 ≤ N	③	<p>現行どおり</p>												
施工歩掛コード	WB330110	施工単位	本																																								
施工区分	入力条件																																										
各種	J1 羽根区分	J2 継杭の有無	J3 N値範囲	J4 最小板厚	J5 杭径区分	J6 掘削長																																					
	①開口タイプ ②開端タイプ	①有 ②無	(表7.1)	(表7.2)	(表7.3)	(表7.4)																																					
N 値	入力番号																																										
N < 20	①																																										
20 ≤ N < 40	②																																										
40 ≤ N	③																																										
<p>II-3-①-35</p>		<p>記載の変更</p>																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																								

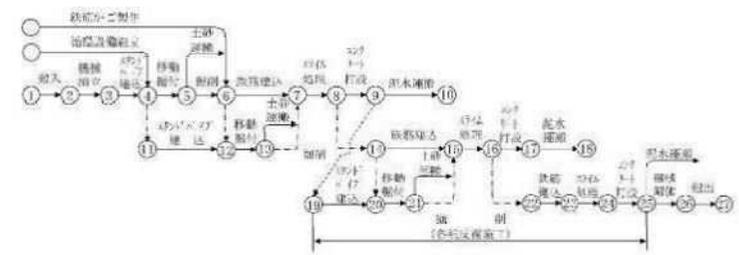
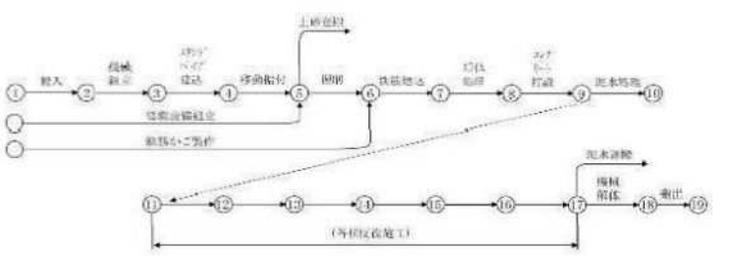
改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>② 場所打杭工</p> <p>②-1 全回転式オールケーシング工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、設計杭径1,000~1,200mmは掘削長60m以下、設計杭径1,500、2,000mmは掘削長50m以下の全回転式オールケーシング工法による場所打杭の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 オールケーシング工法は、打込準備（敷鉄板の設置・撤去含む）を行ったのち、杭芯出しを行い、ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押し込みながらハンマグラブによって土砂及び岩砂の搬出を行う。 支持層に達したことを確認した後、孔内清掃（スライム処理）、鉄筋建込を行い、さらにトレミー管によりコンクリートを打設しながらケーシングチューブを引抜くことによって杭を施工する。</p> <p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">(注) 本步掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">(注) 本步掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p>	記載の変更
積算上の注意事項	II-3-②-1		(控え頁) 1/4

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																	
現	行	改 正	備 考																																																
<p>5-3 杭頭処理 杭1本当り杭頭処理歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 杭頭処理歩掛 (1本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="5">設計杭径(mm)</th> </tr> <tr> <th>1,000</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> <th>1,500</th> <th>2,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.09</td> <td>0.10</td> <td>0.11</td> <td>0.14</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.31</td> <td>0.34</td> <td>0.37</td> <td>0.46</td> <td>0.62</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮シブ型・排ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>日</td> <td>0.09</td> <td>0.10</td> <td>0.11</td> <td>0.14</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 2. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排山ガス対策型)、コンクリートブリーカ損料、付着防止材等の費用であり、労務費、運転経費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 撤処分費が必要な場合は、別途計上する。 4. 敷積込については、「第II編第2章③構造物とりこわし工」により、別途計上する。 5. 搬運機については、「第II編第2章④搬送機」により、別途計上する。</p> <p>5-4 鉄筋工 鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>5-5 諸雑費 諸雑費は、施工機械足場用の足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、ハンマグラブ、ケーシングチェーン、ハンマクラウン、ブランチヤ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、コンクリート打込スロープ、吊金具、吊ワイヤ、工事中水中モータポンプの損料、副バンド装置の損料、ビット等の損耗費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する(杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない)。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="width: 50%; margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸雑费率</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </table>		名 称	規 格	単 位	設計杭径(mm)					1,000	1,100	1,200	1,500	2,000	土木一般世話役		人	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18	特殊作業員		#	0.31	0.34	0.37	0.46	0.62	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18	諸 雑 費		%	19					諸雑费率	29	<p>現行どおり</p> <p>5-5 諸雑費</p> <p>現行どおり</p>		記載の変更
名 称	規 格				単 位	設計杭径(mm)																																													
		1,000	1,100	1,200		1,500	2,000																																												
土木一般世話役		人	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18																																												
特殊作業員		#	0.31	0.34	0.37	0.46	0.62																																												
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18																																												
諸 雑 費		%	19																																																
諸雑费率	29																																																		
積算上の注意事項	II-3-②-5		(控え頁) 2/4																																																

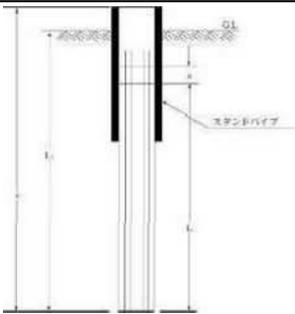
改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																									
現 行		改 正																																																																																																																																									
備 考																																																																																																																																											
<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 基礎杭T.1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB230310</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×D_c</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×D_c</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×D_c</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×D_c</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>掘 削 機 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td>D_c</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>D_c</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>D_c</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>別途計上する</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D_c: 杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>(2) 杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB230350</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工歩掛コード		WB230310			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1	と び 工		〃	1×D _c	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃	普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃	掘 削 機 運 転		日	D _c	機械損料	クローラクレーン運転		〃	D _c	〃	パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		〃	D _c	機械賃料	コ ン ク リ ー ト		m ³			鉄 筋 工		t		別途計上する	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					施工歩掛コード		WB230350			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<p>現行どおり</p> <p>(2) 杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB230350</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工歩掛コード		WB230350			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					記載の変更
施工歩掛コード		WB230310																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1																																																																																																																																							
と び 工		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																							
掘 削 機 運 転		日	D _c	機械損料																																																																																																																																							
クローラクレーン運転		〃	D _c	〃																																																																																																																																							
パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		〃	D _c	機械賃料																																																																																																																																							
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																									
鉄 筋 工		t		別途計上する																																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																							
計																																																																																																																																											
施工歩掛コード		WB230350																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																							
ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																							
計																																																																																																																																											
施工歩掛コード		WB230350																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																							
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																							
ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮シブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																							
計																																																																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行																																														
	現 行	改 正	備 考																																													
	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 機械損料数量→ 1.45</td> </tr> <tr> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 機械損料数量→ 1.45</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 機械損料数量→ 1.45	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 機械損料数量→ 1.45	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60	→	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 88 機械損料数量→ 1.45 1.4646</td> </tr> <tr> <td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 145 機械損料数量→ 1.45 1.4646</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38 1.3839</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38 1.3839</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 88 機械損料数量→ 1.45 1.4646	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 145 機械損料数量→ 1.45 1.4646	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38 1.3839	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38 1.3839	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60	記載の変更
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																													
全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 機械損料数量→ 1.45																																													
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 機械損料数量→ 1.45																																													
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38																																													
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38																																													
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60																																													
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																													
全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 69 88 機械損料数量→ 1.45 1.4646																																													
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 82 145 機械損料数量→ 1.45 1.4646																																													
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 70t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.38 1.3839																																													
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.38 1.3839																																													
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																													

工 種	リバースサーキュレーション工
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
<p>②-2 リバースサーキュレーション工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、リバースサーキュレーションによる場所打杭Tの施工に適用する。なお、揚水方式はポンプサクション方式とし、杭径は800～2,000mm、掘削長は70mまでとする。施工方法はA工法（クローラークレーン2台による施工）を標準とし、作業面積、障害物等によりクローラークレーン2台を常時使用して作業することが不可能な場合はB工法（クレーン1台施工）とする。</p> <p>工法別作業順序 (A工法)</p>  <p>(B工法)</p>  <p style="text-align: center;">図1-1 工法別作業順序</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-9</p>		削除	歩掛廃止
積算上の注意事項			(控え頁) 1/9

改正理由	廃止	改正		備考																																																																																																																										
		現 行	改 正																																																																																																																											
<p>2. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種 の 選 定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>A工法</th> <th>B工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>リバースサーキュレーションドリル</td> <td>ロータリテーブル式、最大掘削径φ3,200mm、最大掘削長200m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ワインチ・ラチェンク型、掘削ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>#</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>(注)</td> </tr> <tr> <td>スタンドパイプ施工用</td> <td>油圧式鋼管挿入機</td> <td>4本ジャッキ式(各種)</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>掘削土処理用</td> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>燃費型・排出ガス対策型(第1次基準値)山積0.5³(平積0.4m³)</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>(注)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スラッシュタンク</td> <td></td> <td>槽</td> <td>必要量</td> <td>必要量</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) クローラクレーン、バックホウは、賃料とする。</p> <p>3. 編 成 人 員</p> <p>掘削機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 編 成 人 員 (人/台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>職種</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>とび工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A工法</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B工法</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) この人員は、掘削機操作、水中ポンプ操作、鉄筋かご建込、コンクリート打設等を含んだ一連の作業にたずさわる人員である。</p> <p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 掘削長杭径別杭1本当り施工日数(d)</p> <p>(1) 掘削長杭径別杭1本当り施工日数は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 掘削長杭径別杭1本当り施工日数(d)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削長(m)</th> <th>掘径(mm)</th> <th>800≦D≦1,100</th> <th>1,100<D≦1,400</th> <th>1,400<D≦1,700</th> <th>1,700<D≦2,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0<L_i≦10</td> <td></td> <td>0.51</td> <td>0.55</td> <td>0.59</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>10<L_i≦20</td> <td></td> <td>0.69</td> <td>0.81</td> <td>0.93</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>20<L_i≦30</td> <td></td> <td>0.87</td> <td>1.07</td> <td>1.27</td> <td>1.47</td> </tr> <tr> <td>30<L_i≦40</td> <td></td> <td>1.05</td> <td>1.33</td> <td>1.61</td> <td>1.90</td> </tr> <tr> <td>40<L_i≦50</td> <td></td> <td>1.23</td> <td>1.59</td> <td>1.96</td> <td>2.32</td> </tr> <tr> <td>50<L_i≦60</td> <td></td> <td>1.41</td> <td>1.85</td> <td>2.30</td> <td>2.74</td> </tr> <tr> <td>60<L_i≦70</td> <td></td> <td>1.59</td> <td>2.11</td> <td>2.64</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表には、準備、リバース機による掘削、スタンドパイプ建込部掘削、スタンドパイプ建込・引抜き、鉄筋かご建込、トレミー管建込、コンクリート打設を含む。</p> <p>(2) 杭N本当り施工日数は、次式による。</p> $d = d_1 \times N \times \gamma \quad (日)$ <p>d : 掘削長杭径別杭N本当り施工日数(日)、d₁ : 掘削長杭径別杭1本当り施工日数(日/本) N : 施工本数(本)、γ : 施工係数</p> <p style="text-align: center;">表4.2 施工係数(γ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>A 工 法</th> <th colspan="2">B 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭 径(mm)</td> <td>800以上2,000以下</td> <td>1,400以下</td> <td>1,400を超える</td> </tr> <tr> <td>係 数</td> <td>1</td> <td>1.70</td> <td>1.47</td> </tr> </tbody> </table>		作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量		備 考	A工法	B工法		リバースサーキュレーションドリル	ロータリテーブル式、最大掘削径φ3,200mm、最大掘削長200m	台	1	1			クローラクレーン	油圧駆動式ワインチ・ラチェンク型、掘削ガス対策型(第1次基準値)50t吊	#	2	1	(注)	スタンドパイプ施工用	油圧式鋼管挿入機	4本ジャッキ式(各種)	#	1	1		掘削土処理用	バックホウ(クローラ型)	燃費型・排出ガス対策型(第1次基準値)山積0.5 ³ (平積0.4m ³)	#	1	1	(注)		スラッシュタンク		槽	必要量	必要量		工法	職種	土木一般世話役	特殊作業員	とび工	普通作業員	A工法		1	1	2	2	B工法		1	1	2	1	掘削長(m)	掘径(mm)	800≦D≦1,100	1,100<D≦1,400	1,400<D≦1,700	1,700<D≦2,000	0<L _i ≦10		0.51	0.55	0.59	0.63	10<L _i ≦20		0.69	0.81	0.93	1.05	20<L _i ≦30		0.87	1.07	1.27	1.47	30<L _i ≦40		1.05	1.33	1.61	1.90	40<L _i ≦50		1.23	1.59	1.96	2.32	50<L _i ≦60		1.41	1.85	2.30	2.74	60<L _i ≦70		1.59	2.11	2.64	3.16	工 法	A 工 法	B 工 法		杭 径(mm)	800以上2,000以下	1,400以下	1,400を超える	係 数	1	1.70	1.47	削除		歩掛廃止
作業種別	機 械 名					規 格	単 位		数 量		備 考																																																																																																																			
		A工法	B工法																																																																																																																											
	リバースサーキュレーションドリル	ロータリテーブル式、最大掘削径φ3,200mm、最大掘削長200m	台	1	1																																																																																																																									
	クローラクレーン	油圧駆動式ワインチ・ラチェンク型、掘削ガス対策型(第1次基準値)50t吊	#	2	1	(注)																																																																																																																								
スタンドパイプ施工用	油圧式鋼管挿入機	4本ジャッキ式(各種)	#	1	1																																																																																																																									
掘削土処理用	バックホウ(クローラ型)	燃費型・排出ガス対策型(第1次基準値)山積0.5 ³ (平積0.4m ³)	#	1	1	(注)																																																																																																																								
	スラッシュタンク		槽	必要量	必要量																																																																																																																									
工法	職種	土木一般世話役	特殊作業員	とび工	普通作業員																																																																																																																									
A工法		1	1	2	2																																																																																																																									
B工法		1	1	2	1																																																																																																																									
掘削長(m)	掘径(mm)	800≦D≦1,100	1,100<D≦1,400	1,400<D≦1,700	1,700<D≦2,000																																																																																																																									
0<L _i ≦10		0.51	0.55	0.59	0.63																																																																																																																									
10<L _i ≦20		0.69	0.81	0.93	1.05																																																																																																																									
20<L _i ≦30		0.87	1.07	1.27	1.47																																																																																																																									
30<L _i ≦40		1.05	1.33	1.61	1.90																																																																																																																									
40<L _i ≦50		1.23	1.59	1.96	2.32																																																																																																																									
50<L _i ≦60		1.41	1.85	2.30	2.74																																																																																																																									
60<L _i ≦70		1.59	2.11	2.64	3.16																																																																																																																									
工 法	A 工 法	B 工 法																																																																																																																												
杭 径(mm)	800以上2,000以下	1,400以下	1,400を超える																																																																																																																											
係 数	1	1.70	1.47																																																																																																																											
積算上の注意事項				(控え頁) 2/9																																																																																																																										

改正理由	廃止	改正 現行																			
現 行		改 正																			
 <p>図4-1 施工図</p> <p>4-2 杭1本の施工に要する各機械の供用日数及び運転日数</p> <p>(1) 掘削機 (リバースサーキュレーションドリル) の供用日数</p> $d_4 = 1.51 \times \gamma \times \delta \times d$ <p>d_4: 掘削機 (リバースサーキュレーションドリル) の供用日数 (供用日/本)</p> <p>γ: 施工係数 (表4.2)</p> <p>δ: 掘削係数 (表4.3)</p> <p>d: 掘削長杭径別杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>表4.3 掘削係数(δ)</p> <table border="1" data-bbox="367 975 696 1023"> <thead> <tr> <th>杭 径(mm)</th> <th>1,400以下</th> <th>1,400を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削係数</td> <td>0.70</td> <td>0.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) クローラクレーンの運転日数</p> $d_{c1} = \gamma \times \epsilon_1 \times d$ $d_{c2} = \gamma \times \epsilon_2 \times d$ <p>d_{c1}: クローラクレーン運転日数 (1台目)</p> <p>d_{c2}: " (2台目)</p> <p>γ: 施工係数 (表4.2)</p> <p>ϵ_1: クレーン係数 (表4.4)</p> <p>ϵ_2: " "</p> <p>d: 掘削長杭径別杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>表4.4 クレーン係数(ϵ_1, ϵ_2)</p> <table border="1" data-bbox="300 1246 763 1310"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>工 法</th> <th>杭径1,400mm以下</th> <th>杭径1,400mmを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ϵ_1</td> <td>A, B工法</td> <td colspan="2">0.99</td> </tr> <tr> <td>ϵ_2</td> <td>A工法</td> <td>0.99</td> <td>0.68</td> </tr> </tbody> </table> <p>II-3-②-11</p>		杭 径(mm)	1,400以下	1,400を超える	掘削係数	0.70	0.80	係 数	工 法	杭径1,400mm以下	杭径1,400mmを超える	ϵ_1	A, B工法	0.99		ϵ_2	A工法	0.99	0.68	<p>削除</p>	<p>歩掛廃止</p>
杭 径(mm)	1,400以下	1,400を超える																			
掘削係数	0.70	0.80																			
係 数	工 法	杭径1,400mm以下	杭径1,400mmを超える																		
ϵ_1	A, B工法	0.99																			
ϵ_2	A工法	0.99	0.68																		
積算上の注意事項			(控え頁) 3/9																		

改正理由	現 行	改 正 <hr/> 現 行	備 考
	<p>(3) 油圧式鋼管圧入引抜機の供用日数 $d_{11} = 1.51 \times \gamma \times d_1$ (供用日/本) d_{12}: 油圧式鋼管圧入引抜機の供用日数 (供用日/本) γ: 施工係数 (表4.2) d_1: 掘削長杭径別杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>(4) バックホウの運転日数 $d_{13} = 1.09 \times \gamma \times \delta \times d_1$ (日/本) d_{14}: バックホウの運転日数 (日/本) γ: 施工係数 (表4.2) δ: 掘削係数 (表4.3) d_1: 掘削長杭径別杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>なお、この日数には、沈殿池の掘削、残上処理、簡単な作業足場敷均し等の全てを含む。</p> <p>4-3 労務歩掛 (1) 表3.11に示す作業員等の杭1本当り労務歩掛 (M) は、次式による。 $M = \gamma \times d_1 \times n$ (人/本) M: 作業員等の杭1本当り労務歩掛 (人/本) γ: 施工係数 (表4.2) d_1: 掘削長杭径別杭1本当り施工日数 (日/本) n: 編成人員 (人)</p> <p>(2) ダンプトラックの運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」による。</p> <p>4-4 施工日数算定にあたってのフロー</p> <p>① 規制時間内施工で積算する。 ② 標準時間作業時間 (8時間) で積算する。 ③ パーティ数を考慮して積算する。 ④ 超勤及びパーティ数を考慮して積算する。</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-12</p>	削除	歩掛廃止
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行	備 考		
現	行	改 正	備 考		
<p>5. 杭1本当りコンクリート使用量</p> <p>杭1本当りに必要なコンクリート使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + K) \text{ (m}^3\text{/本)}$ <p>Q：杭1本当りコンクリート使用量 (m³/本) D：杭径 (m) L：杭長 (m) K：コンクリートロス率</p> <p>コンクリート量のロス (ロス+杭頭処理部分を含む) は、次表とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.1 コンクリートのロス率(K)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.12</td> </tr> </table>		ロ ス 率	+0.12	削除	歩掛廃止
ロ ス 率	+0.12				
<p>6. 鉄 筋 工</p> <p>鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工 (太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>7. 掘削土及び泥水処理</p> <p>(1) 掘削土の運搬が必要な場合は、ダンプトラック (オンロード・ディーゼル10t 積載) を別途計上する。 (2) 掘削土の産業廃棄物処理費が必要な場合は、別途計上する。 (3) 泥水処理費が必要な場合は、別途計上する。</p>					
II-3-②-13			(控え頁) 5/9		
積算上の注意事項					

改正理由	廃止	改正 — 現行																																																																																		
現 行		改 正																																																																																		
<p>8. 諸 雑 費</p> <p>杭1本当たりの諸雑費は、鉄筋かご建込時の溶接材、ブランチャ・スタンドパイプ・トレミー管・電気溶接機・ドリルパイプ・サクシオンホース・デリバリーホース・工事用水中モータポンプ・三翼ビット・ハンマクラブ及びハンマクラウンの損料、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設に関する経費、電力に関する経費、杭頭処理等の費用であり労務費、機械損料、賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 諸雑費率 (％)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>工 法</td> <td>A工法・B工法</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>9. 単価表及び内訳書</p> <p>(1) 基礎杭工1本当り内訳書</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230410</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\gamma \times d_i \times n$</td> <td>表3.1, 表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\gamma \times d_i \times n$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\gamma \times d_i \times n$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$\gamma \times d_i \times n$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>油圧式綱索機</td> <td>4本ジャッキ式(各種)</td> <td>供用日</td> <td>$1.51 \times \gamma \times d_i$</td> <td>表4.1, 表4.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>リバースサーキュレーションドリル</td> <td>ロータリテーブル式 最大掘削径φ3,200mm 最大掘削長 200m</td> <td>"</td> <td>$1.51 \times \gamma \times 6 \times d_i$</td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積</td> <td>日</td> <td>$\gamma \times e_i \times d_i$</td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積</td> <td>"</td> <td>$\gamma \times e_i \times d_i$</td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m(平積0.4m)</td> <td>"</td> <td>$1.09 \times \gamma \times 6 \times d_i$</td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>単価表(2)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>別途計上</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積載</td> <td>h</td> <td></td> <td>別途計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費の対象額には、鉄筋工、コンクリート材料費、ダンプトラック運転は含まれない。 2. スラッシュタンクは、別途計上する。 3. クローラクレーン、バックホウは、賃料とする。 4. γ : 施工係数 d_i : 掘削長杭別杭1本当り施工日数 n : 編成人員 δ : 掘削係数 e_1 : クレーン係数 e_2 : クレーン係数</p>		工 法	A工法・B工法	諸 雑 費 率	30	施工歩掛コード	WB230410	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\gamma \times d_i \times n$	表3.1, 表4.1, 表4.2	特殊作業員		"	$\gamma \times d_i \times n$	"	とび工		"	$\gamma \times d_i \times n$	"	普通作業員		"	$\gamma \times d_i \times n$	"	油圧式綱索機	4本ジャッキ式(各種)	供用日	$1.51 \times \gamma \times d_i$	表4.1, 表4.2 機械損料	リバースサーキュレーションドリル	ロータリテーブル式 最大掘削径φ3,200mm 最大掘削長 200m	"	$1.51 \times \gamma \times 6 \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積	日	$\gamma \times e_i \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積	"	$\gamma \times e_i \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m(平積0.4m)	"	$1.09 \times \gamma \times 6 \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料	コンクリート		m ³		単価表(2)	鉄筋工		t		別途計上	ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 10t積載	h		別途計上 機械損料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					削除	歩掛廃止
工 法	A工法・B工法																																																																																			
諸 雑 費 率	30																																																																																			
施工歩掛コード	WB230410																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																
土木一般世話役		人	$\gamma \times d_i \times n$	表3.1, 表4.1, 表4.2																																																																																
特殊作業員		"	$\gamma \times d_i \times n$	"																																																																																
とび工		"	$\gamma \times d_i \times n$	"																																																																																
普通作業員		"	$\gamma \times d_i \times n$	"																																																																																
油圧式綱索機	4本ジャッキ式(各種)	供用日	$1.51 \times \gamma \times d_i$	表4.1, 表4.2 機械損料																																																																																
リバースサーキュレーションドリル	ロータリテーブル式 最大掘削径φ3,200mm 最大掘削長 200m	"	$1.51 \times \gamma \times 6 \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料																																																																																
クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積	日	$\gamma \times e_i \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料																																																																																
クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ チアシフ浦 非出ガス対策型(第1次基準値) 50t積	"	$\gamma \times e_i \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.4 機械賃料																																																																																
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m(平積0.4m)	"	$1.09 \times \gamma \times 6 \times d_i$	表4.1, 表4.2, 表4.3 機械賃料																																																																																
コンクリート		m ³		単価表(2)																																																																																
鉄筋工		t		別途計上																																																																																
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 10t積載	h		別途計上 機械損料																																																																																
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																
計																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 6/9																																																																																	

改正理由	廃止	改正 ----- 現行																																																																			
現 行		改 正																																																																			
<p>10. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) リバース杭体工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230410</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>工法</td> <td>杭径(D) (mm)</td> <td>掘削長区分 (L_i)</td> </tr> <tr> <td>①A工法 ②B工法</td> <td>(実数入力)</td> <td>(表10.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">クローラクレーン 賃料補正係数</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. クローラクレーン、バックホウは、賃料とする。 2. クローラクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 杭径区分</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>リバース杭径 (mm)</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>800 ≦ D ≦ 1,100</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>1,100 < D ≦ 1,400</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>1,400 < D ≦ 1,700</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>1,700 < D ≦ 2,000</td> <td>④</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表10.2 掘削長区分</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>掘削長 (m)</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>0 < L_i ≦ 10</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>10 < L_i ≦ 20</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>20 < L_i ≦ 30</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>30 < L_i ≦ 40</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>40 < L_i ≦ 50</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>50 < L_i ≦ 60</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>60 < L_i ≦ 70</td> <td>⑦</td> </tr> </table> <p>(2) コンクリート工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230420</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>杭径</td> <td>杭長</td> <td>コンクリート 規格区分</td> </tr> <tr> <td>(mm) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(表10.3)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、コンクリートの材料補正を含む。 2. J 3条件で⑤を選択した場合には、各種(Y-0210000)にコンクリートの㎡当り単価を単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-16</p>		施工歩掛コード	WB230410	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	工法	杭径(D) (mm)	掘削長区分 (L _i)	①A工法 ②B工法	(実数入力)	(表10.2)		クローラクレーン 賃料補正係数		①標準 ②標準以外 (実数入力)	リバース杭径 (mm)	入力番号	800 ≦ D ≦ 1,100	①	1,100 < D ≦ 1,400	②	1,400 < D ≦ 1,700	③	1,700 < D ≦ 2,000	④	掘削長 (m)	入力番号	0 < L _i ≦ 10	①	10 < L _i ≦ 20	②	20 < L _i ≦ 30	③	30 < L _i ≦ 40	④	40 < L _i ≦ 50	⑤	50 < L _i ≦ 60	⑥	60 < L _i ≦ 70	⑦	施工歩掛コード	WB230420	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	杭径	杭長	コンクリート 規格区分	(mm) (実数入力)	(m) (実数入力)	(表10.3)	削除	歩掛廃止
施工歩掛コード	WB230410	施工単位	本																																																																		
施工区分	入 力 条 件																																																																				
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																		
	工法	杭径(D) (mm)	掘削長区分 (L _i)																																																																		
	①A工法 ②B工法	(実数入力)	(表10.2)																																																																		
	クローラクレーン 賃料補正係数		①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																		
リバース杭径 (mm)	入力番号																																																																				
800 ≦ D ≦ 1,100	①																																																																				
1,100 < D ≦ 1,400	②																																																																				
1,400 < D ≦ 1,700	③																																																																				
1,700 < D ≦ 2,000	④																																																																				
掘削長 (m)	入力番号																																																																				
0 < L _i ≦ 10	①																																																																				
10 < L _i ≦ 20	②																																																																				
20 < L _i ≦ 30	③																																																																				
30 < L _i ≦ 40	④																																																																				
40 < L _i ≦ 50	⑤																																																																				
50 < L _i ≦ 60	⑥																																																																				
60 < L _i ≦ 70	⑦																																																																				
施工歩掛コード	WB230420	施工単位	本																																																																		
施工区分	入 力 条 件																																																																				
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																		
	杭径	杭長	コンクリート 規格区分																																																																		
	(mm) (実数入力)	(m) (実数入力)	(表10.3)																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 8/9																																																																		

改正理由	廃止	改正 現 行																																																				
現 行		改 正																																																				
<p>表10.3 コンクリート規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30-15-25 (20) 高炉B</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>30-15-40 高炉B</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>30-18-40 普通ポルトランドセメント</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>30-18-40 高炉B</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>各種 (Y-0210000)</td> <td>⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) スラッシュタンク</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="5">入力条件</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">各種</th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th>J 3</th> <th>J 4</th> <th>J 5</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>杭径区分 (D)</th> <th>掘削長区分 (L_i)</th> <th>施工係数区分 (γ)</th> <th>スラッシュタンク 10㎡の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①A工法 ②B工法</td> <td>(表10.1)</td> <td>(表10.2)</td> <td></td> <td>①γ=1.00 ②γ=1.47 ③γ=1.70</td> <td>①有 ②無</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>J 6</th> <th>J 7</th> <th>J 8</th> <th>J 9</th> <th>J 10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スラッシュタンク数 10㎡</td> <td>スラッシュタンク 20㎡の有無</td> <td>スラッシュタンク数 20㎡</td> <td>スラッシュタンク 30㎡の有無</td> <td>スラッシュタンク数 30㎡</td> </tr> <tr> <td>(槽) (実数入力)</td> <td>①有 ②無</td> <td>(槽) (実数入力)</td> <td>①有 ②無</td> <td>(槽) (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 4条件は①で固定される。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は③で固定される。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で③、④を選択した場合は、J 4条件は②で固定される。 4. J 5条件で②を選択した場合は、J 6条件は入力する必要はない。 5. J 7条件で②を選択した場合は、J 8条件は入力する必要はない。 6. J 9条件で②を選択した場合は、J 10条件は入力する必要はない。</p>		コンクリート規格	入力番号	30-15-25 (20) 高炉B	①	30-15-40 高炉B	②	30-18-40 普通ポルトランドセメント	③	30-18-40 高炉B	④	各種 (Y-0210000)	⑤	施工区分	入力条件					各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	工法	杭径区分 (D)	掘削長区分 (L _i)	施工係数区分 (γ)	スラッシュタンク 10㎡の有無	①A工法 ②B工法	(表10.1)	(表10.2)		①γ=1.00 ②γ=1.47 ③γ=1.70	①有 ②無	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	スラッシュタンク数 10㎡	スラッシュタンク 20㎡の有無	スラッシュタンク数 20㎡	スラッシュタンク 30㎡の有無	スラッシュタンク数 30㎡	(槽) (実数入力)	①有 ②無	(槽) (実数入力)	①有 ②無	(槽) (実数入力)	<p>削除</p>		備考
コンクリート規格	入力番号																																																					
30-15-25 (20) 高炉B	①																																																					
30-15-40 高炉B	②																																																					
30-18-40 普通ポルトランドセメント	③																																																					
30-18-40 高炉B	④																																																					
各種 (Y-0210000)	⑤																																																					
施工区分	入力条件																																																					
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																	
	工法	杭径区分 (D)	掘削長区分 (L _i)	施工係数区分 (γ)	スラッシュタンク 10㎡の有無																																																	
①A工法 ②B工法	(表10.1)	(表10.2)		①γ=1.00 ②γ=1.47 ③γ=1.70	①有 ②無																																																	
J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																		
スラッシュタンク数 10㎡	スラッシュタンク 20㎡の有無	スラッシュタンク数 20㎡	スラッシュタンク 30㎡の有無	スラッシュタンク数 30㎡																																																		
(槽) (実数入力)	①有 ②無	(槽) (実数入力)	①有 ②無	(槽) (実数入力)																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 9/9																																																			

